

山菜と放射能



山菜の放射能汚染の程度は、山菜の種類や採取場所、季節などによって変わります。
採取を避けるべき山菜の見分け方をご紹介します。

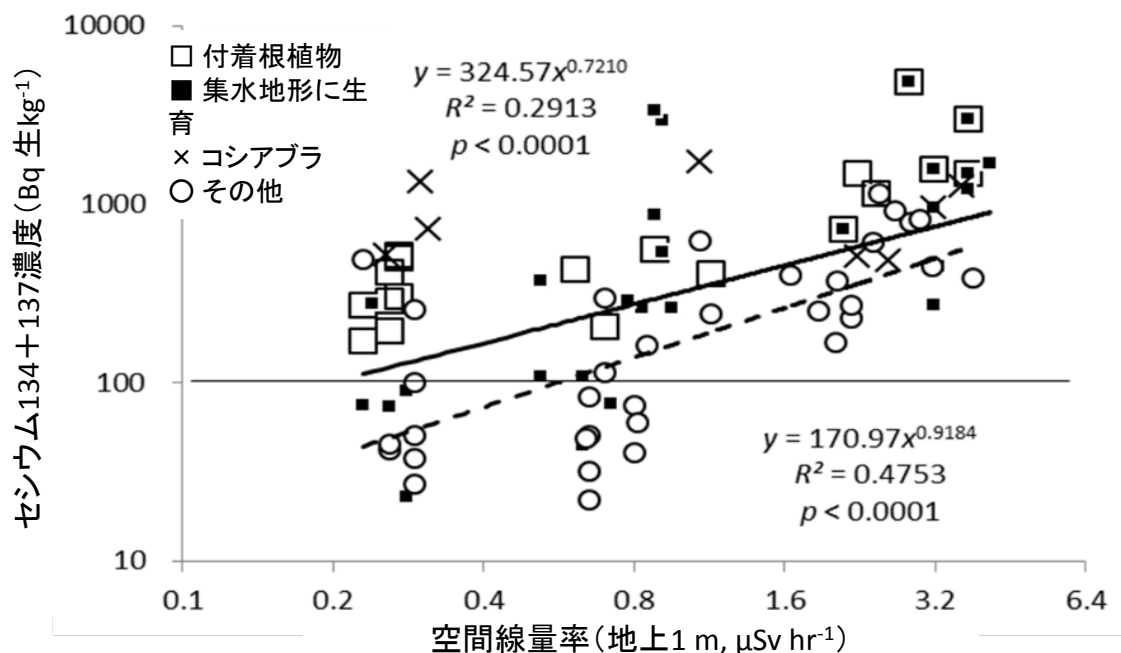
講師 清野嘉之(研究コーディネータ)

避けるべき山菜は

1. 空間線量率(注1)が高い場所ほど、山菜は汚染されています。
2013年の春に空間線量率が $0.8 \mu\text{Sv h}^{-1}$ 以上あった場所では、山菜を採らないようにして下さい。
2. 空間線量率が同じでも、付着根を持つ山菜や、集水地形(窪地や谷など、地表面水等が集まりやすい場所)で育つ山菜はより汚染されています。
3. 放射能汚染された場所のコシアブラは採らないで下さい。
コシアブラは空間線量率が $0.2 \mu\text{Sv h}^{-1}$ 以上の場所では強く汚染されている可能性があります。コシアブラが他の山菜よりも強く汚染されている理由は、現時点では不明です。
4. 空間線量率と放射能汚染の関係は、放射性物質の減衰や生態系内での移動にともない、刻々変化していくと考えられます。
判断に当たっては、最新の情報(注2)をご参照下さい。

(注1) <http://ramap.jmc.or.jp/map/eng/> などをご参照下さい。

(注2) <http://www.ffpri.affrc.go.jp/rad/index.html> などをご参照下さい。



空間線量率と山菜中の放射性セシウムの関係

(森林立地55(2)117頁より転載)